



月にみがきて

令和5年11月24日

千曲市立更級小学校

<文責>

教頭：青木 猛

「150周年記念式典」 11月17日金曜日

11月17日に、「棚田姫」の作曲者である吉川忠英さんをお招きして、「千曲市立更級小学校150周年記念式典」を開催いたしました。吉川さんと一緒に歌った「棚田姫」は、心に残るものとなりました。



吉川さんの演奏



150周年記念リンゴ



150周年記念給食

各学年が学習してきた「ふるさと学習」の様子について、体育館に展示しました。どの学年もさらしなの地域にかかわる学習の様子を紹介しましたが、これ以外に5年生は更級小学校の歴史資料館をきれいにして展示してくれました。3年生は、リンゴ栽培体験学習で日頃からお世話になっている「中村農園」さんで、栽培の様子を見学したり、収穫体験をさせていただいたりしながら、150周年記念リンゴの生育を体験的に学び、収穫したリンゴを記念品として来賓の皆様や全校児童へ配布しました。6年生は家庭科の授業で、「更級小学校150周年記念希望献立」を考え、11月17日の記念式典の日の給食では、コロッケに6年生が考えた図案が綺麗に描かれていきました。また、PTAより記念品として「エコバック、航空写真・集合写真のクリアファイル（後日配布予定）」を、一人1つずつ渡しました。今後は、「文集さらしな150周年記念号」が年明けに配布となる予定です。楽しみにしていてください。

なかよし月間 11月1日～30日

11月2日 全校集会での校長先生のお話より

【中略】では、身のまわりにある人権問題って何でしょうね。それは、相手が嫌な気持ちになる言葉や行動すべてを指すと校長先生は思います。今日はそれにかかわって、「一秒の言葉」というお話をします。みなさんは、「一秒」という時間がどのくらいかわかりますね。そう、とっても短い時間です。では、そのとっても短い時間で言える言葉には、どんな言葉があるか心の中で思い浮かべてみてください。浮かびましたか？ 一つの詩を紹介します。

「一秒の言葉」 小泉吉宏

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じことがある

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえてくることがある

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒

「おはよう」朝、おはようと声をかけられると、何だかうれしい気持ちになります。「ありがとう」なんか心があったかくなります。「がんばれ」よしやるぞという気持ちになります。どの言葉も、言われて嬉しい言葉ですね。でも逆に、とっても嫌な気持ちや悲しくなってしまう言葉もあります。「バカ」「死ね」「きもいい」などの言葉を、言ってしまったことはありませんか?きっとこの言葉を今まで言われたことがある人は、悲しかつただろうし、切なかつただろうし、苦しかつただろうと思います。うれしくなる言葉、元気のできる言葉、あつたかくなる言葉、悲しくなってしまう言葉、切なくなってしまう言葉、どれもみんな「一秒の言葉」です。「たった一秒の言葉」にも、心があるのです。

「150周年記念音楽会 大成功!!」

11月10日(金)は、おだやかな天気に恵まれ、150周年記念音楽会を開催することができました。児童のみなさんの力を結集させてくれたおかげで、今年度は150周年記念音楽会として行うことができました。音楽会2週間前からは、ステージでの練習を毎日1時間程度行い、各クラスでも時間を見つけて練習に励んできました。当日はその練習でつけた力をすべて出し切り、一人一人が心を込めて歌ったり演奏したりして、素晴らしい音楽会になりました。保護者の皆様にも参観をしていただき、お子さんたちの発表に温かい拍手をたくさんいただきました。どうもありがとうございました。



「縄文まつり」に参加しました

さる10月29日(日)に、さらしなの里で「縄文まつり」が開催されました。更級小学校の全校児童も参加し、「火起こし」「豊穣儀礼」などの儀式が行われました。これらは、当時の食べ物への感謝と次の年も食べ物がとれることを神に祈る儀式でした。

また、縄文時代の様子について各クラスで学習したことを発表し、どのクラスもわかりやすく発表できました。この「縄文まつり」は、地域に歴史的遺跡があることの誇らしさを改めて理解させてくれるとともに、縄文時代の人々の暮らしを肌で実感することができました。

児童にとって一生忘れ得ぬ、非常に貴重な体験をさせていただいています。そして、更級の地域にいる方々と一緒に祭りに参加することで、地域の一員であるという自覚を持てたことだと思います。来年度も「縄文まつり」が開催され、更級の伝統的行事が継承されていくこと願っています。



【地域の皆様へ】

150周年を記念したグッズ(エコバッグ)を作成しましたので、希望者に追加販売したいと思います。詳細は、別紙のチラシをご覧いただき、申し込んでください。